

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（保育学科）

No.	授業科目	代表教員	単位数	概要
1	社会学	戸石 輝	2	現代社会の状況、社会学の基本的な概念について学修する。実務経験あり・・・医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、授業を行う。
2	生物学	村上 伸也	2	生命の成り立ちや進化、細胞の成り立ちと活動、生命が連続するしくみ、生命が環境の変化に合わせて生活するしくみについて、「生命」をキーワードとして理解する。さらに生物学の学習を通じて、医学／歯科医学領域の生命科学との関連や最新の生命科学についても知識を深める。実務経験あり・・・担当教員は、大阪大学歯学部・大学院歯学研究科、大阪大学歯学部附属病院において、教員および歯科医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
3	地域福祉論	今井 慶宗	2	地域福祉をめぐる重要なキーワードについて学び、地域福祉とは何かについて理解を深めます。さらに、これまでの地域福祉の歴史や地域福祉展開の方法について学び、具体的な展開過程について学びます。また、ボランティアをはじめとする地域における様々な取り組みの実際を知るとともに、その意義についても考えます。実務経験あり・・・担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
4	介護概論	藤田 了	2	複雑化する生活課題に対応する制度・政策、サービス、支援を学ぶ。要介護者と介護者についての理解を深め、介護・福祉・保健・医療等の領域の専門職の支援について具体的に学び実践的な知識を習得することをめざす。また、対人援助職者としてクライアントの自立をめざした側面的なかかわりについて理解する。適宜授業の理解を深めるために、DVD等の視聴覚教材の活用、ペアワーク、グループワーク、介護体験等の演習を行うので主体的に取り組むこと。実務経験あり・・・担当教員は、社会福祉法人等において、介護や介護支援専門員（ケアマネジャー）として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
5	幼児造形	宇津木 七実	1	いろいろな描画材を使い、その扱い方や技法を修得する。折り紙を構成して美しい作品を創作する。粘土の扱い方や技法を修得する。造形ファイルを作成する。実務経験あり・・・担当教員は幼稚園、保育園、幼保連携型認定こども園等の要請に応じ、造形絵画指導者として園児指導、職員研修の業務に現在も従事しており、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
6	保育原理	佐藤 佳枝	2	保育所保育指針に示された保育の理念や概念について学びます。また、保育所における乳幼児期の保育の具体例などを通して、一人一人の発達に沿って取り組む実際の保育について理解を深めます。授業ではmanabaを活用し、授業の学びを振り返ることで、保育に関する知識を定着させます。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者としての経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行います。
7	子ども家庭福祉	今井 慶宗	2	児童虐待、子どもの貧困、少子化、核家族など児童を取り巻く現状と課題を理解する。子ども家庭福祉に関わる関係機関とのネットワークについて学習し密接な連携が大切なことを学習する。子ども福祉の専門職として、どのような役割が期待されているのかを学習する。子どもの家庭を含めて支援する具体的な援助活動について学習する。実務経験あり・・・担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
8	保育の心理学	津田 尚子	2	子どもの発達に関する心理学の基礎を習得し、発達を捉える視点について理解する。また、社会情動、身体運動機能、認知、言語の発達過程を知り、それらを踏まえて、子どもの学びをどのように展開していくか学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、スクールカウンセラー・各地教育委員会等で児童指導や相談業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（保育学科）

No.	授業科目	代表教員	単位数	概要
9	子どもと人間関係	佐藤 佳枝	1	人は人の間で成長していくものである。人間発達の原因である乳幼児期に様々な人との関わりの中で育つことは、その後の人格形成においても重要な意味をもつ。本科目では、5領域「人間関係」を基に、子どもが発達年齢に応じて人間関係を形成し、成長する過程を理解する。また、豊かな人間関係を育む環境や援助・指導について実践事例を基に学ぶ。実務経験あり・・・公立保育園で27年間保育者経験がある教員が、その経験を活かして、より具体的な子ども理解に繋がる講義を行う。
10	子どもと環境	小寺 玲音	1	領域「環境」の指導の基礎となる、現代の幼児を取り巻く環境とその現代的課題、幼児と身近な環境との関わりでの発達等について学ぶ。（屋外で自然と関わるなどの体験的活動やICT活用等を取り入れる）実務経験あり・・・担当教員は、幼稚園、保育所において幼稚園教諭、保育士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして、上記の授業を行う。
11	子どもと言葉	佐藤 佳枝	1	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を身に付ける。また児童文化財の実践を行い、保育への取り入れ方をグループ討議・発表をする。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者経験があり、その実務経験を活かして、より具体的な子ども理解に繋がる講義を行う。
12	子どもと造形表現	宇津木 七実	1	保育内容の各領域を総合的に捉えつつ、紙類等の表現素材を用いての制作や、子どもと関わり体験を基に、幼児期の表現活動を指導・援助するための知識や技能、保育者としての表現力を身につける。実務経験あり・・・担当教員は幼稚園、保育園、幼保連携型認定こども園等の要請に応じ、造形絵画指導者として園児指導、職員研修の業務に現在も従事しており、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
13	子ども家庭支援の心理学	津田 尚子	2	生涯発達の観点から心理学的発達を理解し、初期の体験の重要さと、精神保健に与える影響を知る。心理学発達における家族・家庭の果たす役割を視野に入れ、子育て家庭における現状と課題を包括的に捉える。実務経験あり・・・担当教員は、スクールカウンセラー・各地教育委員会等で児童指導や相談業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
14	保育内容総論	佐藤 佳枝	1	「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた保育内容と指導の考え方について概説する。幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を想定し、具体的な保育を構想する力を身につけられるように、実践的な講義になる。子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を理解し、子どもの実態に応じた具体的な保育について考察する機会を設ける。保育内容の5領域や様々な視点から見えてくる事例をもとに、子ども理解を深め、専門性の高い実践に繋がられるようにする。又、授業後半に玩具等の遊び込む経験をし、遊びをした後、「子どもが主体的に遊ぶとはどういうことだと感じたのか」グループワークを行い、子ども理解に繋げる。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者の経験があり、その実務経験を活かして、より具体的な子ども理解に繋がる講義を行う。
15	保育内容演習（健康）	小寺 玲音	1	「保育内容演習（健康）」では、領域「健康」のねらい及び内容、内容の取扱いについて理解できるように、テキストおよび配布資料を使い授業を進めていきます。また、講義内容を踏まえたグループ討議および発表を通して、領域「健康」について説明する力をつけます。特に乳幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育、発達、運動発達の特徴の理解を深め、適切な指導法を身につけられるように具体的な事例などを通して学びます。また、授業の中で領域「健康」の視点につながる絵本や手遊びについても紹介します。実務経験あり・・・担当教員は幼稚園および保育所において幼稚園教諭、保育士として業務に従事した経験があり、その実務を活かして上記の授業を行います。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（保育学科）

No.	授業科目	代表教員	単位数	概要
16	保育内容演習（人間関係）	佐藤 佳枝	1	保育所・幼稚園・認定こども園における保育内容 領域「人間関係」の内容に沿って、子どもの生活の中でみられる人との関わりの発達や変化等の理解を深め、その読み取りや援助の具体的な方法について、実践事例、模擬保育、グループディスカッション等を通して、体験的に理論と実践の学びを深める。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者経験があり、その実務経験を活かして、より具体的な子ども理解に繋がる講義を行う。
17	保育内容演習（環境）	小寺 玲音	1	領域「環境」のねらい及び内容について、子どもの生活や遊びと結び付けながら理解を深める。各内容に関連する素材や遊びを体験したり、調べたり、考えたりすることによる気付きや学びを活かし、グループワークを通して具体的な指導場面を想定した保育の構想、指導方法を考える。実務経験あり…担当教員は、幼稚園・保育園において幼稚園教諭、保育士として従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
18	保育内容演習（言葉）	佐藤 佳枝	1	幼稚園教育要領や保育所保育指針等に示された基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容について学びを深める。それらの知識を基盤として、乳幼児期における言葉の発達過程とその特性の理解に基づき、言葉を育む取り組み、および実践する方法を身につける。具体的には、児童文化財の特質について理解を深めるとともに教材作りや実践をおこなったり、映像資料や事例を活用して具体的な保育を想定した指導案の作成、模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につけていく。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者経験があり、その実務経験を活かして、より具体的な子ども理解に繋がる講義を行う。
19	保育内容演習（造形表現）	宇津木 七実	1	各実技においては、講義や資料を基に幼児の育ちや生活をイメージし、対象年齢や季節・行事に相応しい内容等を考えて取り組む。必要な材料・用具は、各自で準備する。実習に関連する授業での指導案作成の経験と自身の制作体験を活かし、幼児のための造形指導案を作成する。実際の保育に役立つよう、制作の過程や考察をポートフォリオにまとめ、模擬保育はグループで話し合い、実践する。実務経験あり・・・担当教員は幼稚園、保育園、幼保連携型認定こども園等の要請に応じ、造形絵画指導者として園児指導、職員研修の業務に現在も従事しており、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
20	保育方法論	小寺 玲音	2	実習や経験の様々な事例を出し合い、子どもの様子の変化や内面の思いを受け止め方を話し合い保育者の関わり方を検討する乳幼児期の育ちや生活の特徴を知り、保育者の役割・援助の仕方（保育方法）を自分なりに考察し発表する年齢や季節に沿った歌・手遊び・絵本などの視聴覚教材を探求し、授業始めに導入として発表したり、参加することで実践に活用できる技術の向上を図る実務経験あり・・・担当教員は幼稚園および保育園において幼稚園教諭・保育士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う
21	幼児理解と教育相談	津田 尚子	2	子どもを理解するには、月齢による発達段階や心理学の理論を当てはめるだけでは不十分です。目の前の子どもの今ここの個々の子どもの気持ちに寄り添い、その子に見えている世界や意欲を汲んで関わっていないと「理解されている」と子どもは感じません。保育における個別場面でそれぞれの子どもに共感的に理解するために、気持ちに影響を与える様々な側面に目配りをしながら、支援の方法を考えていきます。実務経験あり・・・担当教員は、文部省スクールカウンセラー活用調査研究委託事業、各地教育委員会の委託を受けて児童指導業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行います。
22	保育・教職実践演習（幼稚園）	西 美江	2	本演習では、本学の学習成果とカリキュラムマップに照らし、就職に向けて補うべき内容に関する授業をオムニバス形式で実施する。また、附属幼稚園等から卒業生を外務講師として招き、対話を通じて就職を前にした学生の様々な不安に応える。実務経験あり・・・小寺は幼稚園と保育所、佐藤は保育所、津田は教育委員会（児童指導相談業務）、宇津木は保育所と幼稚園（造形指導）、藤原は保育所と幼稚園（音楽指導）での実務経験があり、これらを活かして上記の授業を行う。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（保育学科）

No.	授業科目	代表教員	単位数	概要
23	社会福祉概論	今井 慶宗	2	日本の福祉の歴史、各国の歴史と現状、現在の日本における福祉制度、福祉機関、福祉施設、福祉サービスについて、児童、障害、高齢者等の各領域の実態について理解を深める。主に講義形式とし、ビデオ等により日本の福祉現場の紹介を行う。実務経験あり・・・身体障害者療護施設において生活支援員として従事した経験があり、その経験を活かして、具体的な場面を紹介しながら、授業をすすめる。
24	子ども家庭支援論	津田 尚子	2	家庭支援・専門的支援の意義を社会的資源・施策とともに理解し、保育士による子ども家庭支援の基本的態度を身につけ、その特性を習熟する。連携・展開・内容・方法・技術等を、児童福祉施設等の実際に照らして理解していく。実務経験あり・・・担当教員は、スクールカウンセラー・各地教育委員会等で児童指導や相談業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。
25	社会的養護Ⅰ	今井 慶宗	2	社会的養護を必要とする子どもの現状を紹介し、更には施設や里親が実践している具体的な支援方法について学んでいきます。養育のあり方の基本と効果的な支援方法、子どもの権利擁護について学び、施設実習における必要な心構えや専門性についての理解を深めていきます。実務経験あり・・・担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
26	子どもの保健	青野 晴美	2	本科目では、成長発達する存在である子どもの健康を生涯発達の面からとらえ、「子どもにとっての健康とは何か」「健やかな子どもの日常生活とは何か」について、子どもの保健に関する総合的な知見を高める。特に、子どもの心身の健康に関する課題に重点を置き、さまざまな社会事象を授業内で取り上げる。また、子どもの感染症の病態とその予防策について医学的知識を習得し、保育専門職の職能を活用した支援の方法を考察する。実務経験あり・・・担当教員は、保育所において看護師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし授業を行う。
27	乳児保育Ⅰ	小寺 玲音	2	「乳児保育Ⅰ」は3歳未満児の保育に関する視聴覚教材やテキストを使い授業を進めていきます。乳児保育（3歳未満児の保育）の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について解説し、乳児保育の基本について学びます。また、多様な保育の場における乳児保育の現状について理解を深めます。乳児保育Ⅰ・Ⅱを通して、3歳未満児の成長・発達の一覧および3歳未満児のあそびについてまとめた資料集を作成します。実務経験あり・・・担当教員は保育所において保育士として業務に従事した経験があり、その実務を活かし上記の授業を行います。
28	乳児保育Ⅱ	小寺 玲音	1	「乳児保育Ⅱ」は3歳未満児の保育に関する視聴覚教材やテキストを使い授業を進めます。乳児保育Ⅰの学びを基に、乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解できるように、グループワークを通して学びを深めていきます。さらに乳児保育について理解を深めるために乳児保育Ⅰに引き続き3歳未満児のあそびについてまとめた資料集を作成します。実務経験あり・・・担当教員は保育所において保育士として業務に従事した経験があり、その実務を活かし上記の授業を行います。
29	社会的養護Ⅱ	今井 慶宗	1	子どもの権利条約と家庭的養護、施設の小規模化、インクルージョンという流れの中で各児童福祉施設における施設養護の実践、施設職員の専門技術等を事例も参考しつつ学んでいく。実務経験あり・・・担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。
30	子育て支援	村田 佳代子	1	○“子どもの最善の利益”を基本に現在の子育て事情を把握し保護者に適切な支援ができるよう、事例を通して支援の方法を身につける。○保育者の行う子育て支援の特性を理解し、子育て支援の実践や相談についてまた、記録等の在り方などの実際を学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、子育て支援施設において保育士並びに家庭相談員として実際に従事した経験があり、その実務経験を活かし授業を行う。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（保育学科）

No.	授業科目	代表教員	単位数	概要
31	保育実習指導Ⅰ（保育所）	佐藤 佳枝	1	保育所の保育を実践するために、保育士としての必要な資質・能力・技術を習得していく。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者の経験があり、その実務経験を活かして、授業を行う。
32	保育実習指導Ⅰ（施設）	今井 慶宗	1	施設の保育を実践するために、保育士としての必要な資質・能力・技術を習得していく。実務経験あり・・・担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
33	保育実習指導Ⅱ	佐藤 佳枝	1	保育所の保育を実践するために、保育士としての必要な資質・能力・技術を習得していく。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者としての経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
34	保育実習Ⅱ	佐藤 佳枝	2	保育計画の企画・立案とともに保育実践を行い、子ども一人一人の発達に応じた援助の方法や保育技術を習得する。保護者とのコミュニケーションの具体的な方法を習得する。また、地域社会に対する理解を深め、連携について具体的に学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、公立保育園で27年間保育者としての経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
35	保育実習指導Ⅲ	今井 慶宗	1	保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰを踏まえ、実習の意義・目的・施設を理解し、事前に施設実習に備える。実習後、実習を振り返り、さらなる課題と学習課題を明確にする。実務経験あり・・・担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
36	造形あそび研究	宇津木 七実	1	講義では、造形あそびを計画するために必要な知識を学ぶ。実技では、制作を通して、保育者が身につけておきたい造形の技能を学ぶ。またワークシートでの振り返りやドキュメンテーション作成で、乳幼児の造形あそびを子どもの育ちや学びに繋げて考えことができる力を養う。ほいくみゅーじっくふえすた（定期演奏会）には、これまで身につけた知識や技能を活かして積極的に参加する。実務経験あり・・・担当教員は幼稚園、保育園、幼保連携型認定こども園等の要請に応じ、造形絵画指導者として園児指導、職員研修の業務に現在も従事しており、その実務経験を活かして上記の授業を行う。
			53	